



▲自然あふれる平筒沼で海洋性スポーツなどで交流を深めました

## 心と心がつなぐ未来への絆

米山に富山県入善町友好使節団が訪問

昭和初期に米山町短台地区を開墾した先人たちの築いた絆を深めるため、富山県入善町友好使節団（小中学生18人・引率者5人）が、8月6日から8日までの3日間、米山町を訪れました。使節団はバスで約8時間かけて米山町に到着。歓迎セレモニーでは、入善特産のジャンボスイカが贈られました。その後、長沼フットピア公園や石ノ森章太郎ふるさと記念館を見学。翌日は平筒沼ふれあい公園で「林間楽校」の児童生徒と、カヌーやローボートなどの海洋性スポーツやウオーラリーなどで交流を深めました。

## 早起きして安心な地場産品を

石越でふれあい朝市

石越ふれあい朝市（石越町朝市事業推進会議主催）が8月12日、石越総合支所駐車場で開催され、早朝から大勢の人たちでにぎわいました。朝市には、野菜生産者や農産加工研究会など9店舗が出店。地元で生産された旬の野菜や農産加工品、石越産大豆100%使用の豆腐や油揚げ、納豆などが販売されました。また、先着200人に石越産大豆豆腐が無料でサービスされ、瞬く間に品切れとなりました。訪れた人は「生産者自らが販売してくれるので、顔を見て買うことができ安心」と話していました。



▲早朝から新鮮な地元産の野菜や加工品などを買い求める来場者

## 親子で夏休みの思い出づくり

津山で工作コンクール・ふるさと絵画展

もくもく親子工作教室が7月21日から8月5日までの土曜と日曜日に、もくもくランドで開催され、市内外から多くの親子連れが参加しました。親が子どもにノコギリやカナヅチの使い方を教えながら、杉板や丸棒を使って、鳥の巣箱や本立てなどを制作。出来上がった90点はコンクールに出品されました。また、第2回ふるさと絵画展が開催され、市内の小学生から54点の作品が寄せられました。【コンクール】大賞：門間一浩・里奈（大崎市）【絵画展】大賞：岩淵真美（嵯峨立小）※敬称略、上位のみ。



▲もくもく大賞の表彰状を受け取る門間一浩さん、里奈さん親子



▲5小学校の児童が沢登りで水にぬれながらも元気に交流しました

## 小学校最後の夏を仲間と満喫

中田で「八ん子かっぱ村」

今年で14回を数える交流合宿「八ん子かっぱ村」が8月10日から12日までの3日間、国立花山青少年自然の家で開催され、中田町内5校の小学6年生141人が参加しました。「八ん子」の由来は、統合前に8つの小学校があったことから、「8つの小学校の子どもたち」という意味で名付けられています。児童たちは、沢登りやキャンプファイヤーなどを体験し、たくさんの友達との交流を楽しみました。参加した児童は「違う学校の友達がたくさんできて、中学校で再会するのがとても楽しみ」と話していました。

## 趣向を凝らした山車に歓声

東和でみやぎ北上連邦サマーフェスティバル

みやぎ北上連邦サマーフェスティバルが、8月15、16日の2日間、米谷地区を会場に行われました。15日の山車行列では、各町内会自慢の山車7台が市街地を練り歩き、太鼓や笛の音で沿道に詰めかけた見物客を楽しませました。山車で太鼓をたたいた鈴木真也君（米谷小5年）は、「今日はとても暑かったけれど一生懸命たたきました」と話していました。また、翌16日の夜にはメインの花火大会が北上川河川敷で行われ、市内外から訪れた約1万3千人の観客は、夜空に広がる大輪の華に歓声を上げていました。

## 暑さに負けず海洋体験

豊里でときめきキッズクラブ

豊里地区の小学生を対象とした「ときめきキッズクラブ」の第3回学習会が8月1、2日の2日間、石巻市田代島で開催されました。1～3年生の日帰り組と、4～6年生の宿泊組の2班に分かれて活動。低学年は海の生き物の生態観察や磯遊びを行い、ヒトデやカニなどを見つけて観察しました。高学年は竹とタイヤのチューブを使ってイカダ作りに挑戦。出来上がったイカダで実際に海へ出航しました。夕食は野外炊飯でカレーライスを作り、どの班もみんなで協力しておいしいカレーが出来上がりました。



▲砂浜で竹やタイヤのチューブを使ってイカダを作る参加者



▲米谷市街地を各町内会自慢の山車が練り歩き見物客を沸かせました